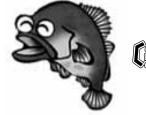


My Town Topics



(拡大版)



美味しいお米になあれ - 比井小・内原小・田植え-

6月1日(月)、比井小学校(玉置雅已校長)の2年生と5年生の児童ら16人が、近所の農家の方6人の協力のもと、田植えに挑戦しました。

学校北の水田(2.5元)に集まった児童らは、農家の方から田植えの説明を受けたあと、「ぬるぬるする〜」「歩きにくい〜」と声を上げながら田んぼに入り、一列に並んで苗を植えました。

田植えに初挑戦の松本萌依さんは、「難しいけど、 植えるときが楽しいです。収穫して、食べるのが楽し みです」と話していました。

田植えは毎年この時期に実施していて、例年どおりであれば、秋には2俵あまりのキヌヒカリが収穫できる予定で、町社会福祉協議会へ寄贈するほか、比井小祭でカレーライスにして地元の方に振る舞うそうです。



6月8日(月)には、内原小学校(山口謙校長)でも 田植えが行われ、近所の農家の方6人の協力のもと、 5年生児童ら43人が田植えに挑戦。苗の持ち方や植 え方の説明を受けたあと水田に入り、どろんこにな りながら苗を植えました。

植えたのはもち米で、秋にはおよそ2俵を収穫予定。12月に小学校で実施する餅つき大会で使用する予定です。

参加した小宮泰誠くんは「ぬめぬめしていて、ずぼっと入って気持ち悪かったです。お餅は大好きなので、餅つきをして、きなこやあんこで食べるのが楽しみです」と収穫を心待ちにしていました。

内原小学校でも毎年この時期に田植えを実施。田植えを行ったのは酒井精氏(高家)所有の水田(3元)で、酒井氏は「子どもたちが農業に興味を持ってくれたらと思っています。子どもが来てくれることで、私たちもエネルギーをもらえます」と話していました。



おいしいジュースになあれ - 志智小・梅ジュース作りー

6月16日(火)、志賀小学校(保田勉校長)で梅ジュース作り体験 が実施され、2年生児童ら34人が梅ジュース作りに挑戦しました。

材料は梅と砂糖だけで、作り方は案外簡単。児童らはまず、つまよ うじを使って梅にたくさん穴を開け、果汁が出やすいように下ごし らえ。大きなビンに梅と砂糖を交互に詰め込み、梅と砂糖を馴染ま せたらできあがり。14日ほどで美味しいジュースになるそうです。

この梅ジュース作りは生活科の授業の一環。体験した濵口友くん は「梅に穴を開けるのが楽しかったです。完成したら、運動したあと の喉が渇いたときに飲みたいです |と楽しそうに話していました。

材料費は「わかやま食育推進総合対策」の事業として県が負担。 授業を通して、県の特産物を知識としてだけではなく、体験を通 して知ってもらうことが狙いです。今後、梅の他にも、県特産物の 桃などを使った授業も実施されます。

おおきくなって帰ってきてね! -ヒラメの稚魚放流・

6月4日(木)、内原小学校(山口謙校長)の5年生児童 43人が産湯地区の海岸でヒラメの稚魚を放流しました。

比井崎漁協の主催で行われたこの放流体験では、児童 らはまず比井崎漁村センターで日高振興局職員から、漁 の種類や漁獲量の減少などについて説明を受け、資源管 理の大切さを勉強。

その後、海岸に移動した児童らは、ヒラメの稚魚が 入ったバケツを手に持ち、波打ち際で一列に並んで次々 に稚魚を海に放流していました。

体験に参加した新野亜依さんは「水が冷たかったけど 楽しかったです。魚料理は好きなので、ヒラメが大きく なって帰ってきたら、お刺身で食べたいです」と話して いました。

この日放流した稚魚はおよそ3.000匹で、県栽培漁業 センターで生まれたのち、比井崎漁協で8cm以上まで育 てたもの。1年経つとおよそ30㎝にまで育ち、刺し網漁



